とそがに概へさんとする目的に因るものであると 密長期に目るべきにより露園及び外園資本の侵入。

對露交涉委員任命

「北平二十八日登電」 原民政府は朱紹腐氏を謝露電源を聴き極に任命すると共に思神機領事輸送官氏をも交渉委員に内命し朱、韓暦氏は職行へへルピンへ向った思神機領事輸送官氏をも交渉委員に内命し朱、韓暦氏は職行へへルピンへ向ったの和氏院決まで一歩を進めたものである 朱、韓兩氏哈市へ急行

奉天勞農領事等

食糧は豐富で物價等も安定

けふ本國へ向ふ

日本、浦鹽を經由し

勞農の要求全部を容れ ルビンで交渉せん を期待

製作相様氏の會見。てあるソウエート関係者を設議でが動いてあるととを実践がした。 一時は正面、要係の意向は和不解決のため東安、対分の理由で近日中に提出した。 一時は正面、要係の意向は和不解決のため東安、対分の理由で近日中に提出した。 一時は正面、要係の意向は和不解決のため東安、対分の理由で近日中に提出した。 一時は正面、要係の意向は和不解決のため東安、対分の理由で近日中に提出した。 日本が満洲に 軍隊四千を増設

國境守備に就く

のが、之に動する順民政府 取職を物かし又山本部級歌歌に命く 反記亦を動き立て 4 るる旅を削縄整件としてあるも 起版府は最近長務。 動物に四千の 瀬夫の神を贈るべく汲れたるが成を削縄整件としてあるも 起版府は最近長務。 動物に四千の瀬夫の神を贈るべく汲れたるがのが、立に動きを存止す 地支那税職は、中央製製人が考定 シアに影戦すること、なつたりのが、フに対しているといなった。 支那新聞の反日記車 勞農軍も移動對抗

極東支那領事を

村松和は何時も斯う口郷のでう 新に合って「深端しない 動と、神概和はら配っ ちぬと、神概和はら配っ

家の大將

半頭を知ら一ツの材料であらう

無なことはでかく かがでされ

村松君の親た

議員決定

農業實習所評

三十日(最り一時時 東南の馬田出 四、五一 日没七、〇八浦帯前 三、四〇 後 三、四〇 大三、四〇

い位心配して居る。 「萬一のことがあったら大人に

面

宴會を氣にす

る村松君

監禁の噂傳はる

兩地領事の消息不明

の女人の女那線事は尚消息不明で一覧。後名の共産主義者本日午後着地のはな、ゴエシニチエンスク、ハバロウス『ハンドン二十八日豊電一校二百楽た」ピン原由書館の客であるが、ブラ とち合い今戦日中に満州里着、ヘル で示威 ルクツタ、チタ、ウエルフネウジ 【満洲里二十八日發車】西伯利イ」には勢震官艦のため監禁されてあ

關東廳實行豫算 略、原案通り通過 遞信局、法院方面削減

不瞬員復職せず

『皇春传電二十九日紀』 麗文殿女 させること - なつた由だが 関連の結果問題辞職した宣城子職 資金が費ひ果たされると交 関連の結果問題辞職した宣城子職 資金が費ひ果たされると交

解決の見込充分 朱全權、北平で語る

できるか實際間壁としては現地と見られる、耐して と見られる、耐して

の勞農各團體 文氣勢を揚ぐ

100 日本 。-- 宇佐美鐵道部長視察談

夜ヴェニスの謝肉祭 ボロネエス要求調 次調フィデリオ ダンス・レコ F

アリアース コクェッゼリ 7 管 林 祭 画

彼なくて 要將をお待ちして居ります。 LT 6 tt



現業員十二名 で運轉 て

質より消費に向ふはず

演習さ種し

勞農機發砲

水産會總代會

満洲里方面で

長官會議に列席

直ぐ歸つて來る

けい上京した藤岡警務局長談

即事館員と同株施路日本に渡り致

支那公使館に示威運動をなし

難更った

に時より高時後代金を開催し込み 素は発出金長、小脂酸を開催したが、 素は発出金長、小脂酸を 素は、非上主事別所被師及び繁節 の路比である

東北四省の 黨務指導委員會 來る九月中に正式成立

新歌歌の音楽の上京は一部の者よ 定七月一号記で設定した。 り種々な目をもつて見られてある。 が、十九日出院のあめりかえに泉 が、十九日出院のあめりかえに泉 が、十九日出院のあめりかえに泉 が、十九日出院のあめりかえに泉 地方部度新泉長 市川 大遮岩繋が主に同作来、市内各型 周地方限長 市川 をよっの十日許り地方長官會議に 五房店地方事務所長 西川 が、十九日出院のり送りを受け等ら 同場務課長 市川 は出席のは上京するんだよ勿論酶に告城。菜質宮所及 小原 数 のは上京するんだよ勿論酶に告城。菜質宮所及 小原 数 のでくるさ

「宮林神・東二十九日及」奉天におに離職したが其他の者には異願なく上京する蘇樂館したがら指摘局には成成立することとなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であると、内には、東京大は「吉林省城に来る像定であり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるととなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるととなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるととなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるととなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるととなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるとといなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるとといなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるとといなり、中央常は安韓張信相氏と協議の上吉林省版であるとと、四、中央常は安韓張信を正式に設置すると思いながら指摘局にある。

市會革新派 聲明要旨 ▲県文三氏、大迹海察務主任)同

▲山崎元幹 以(滿線文書課長)同 上 計長、眉上 大觀 觀

アブ四重奏曲全四枚 カベエ絃樂四軍突團

スタングード・レコードより

歌劇ザ作 歌剧マリタナ L コロムラ変要管紋集団 ブルネマウス管絃楽園

商樂序大三 フランス近れ 銀線

常教製 組 曲 イベリア 全三社 で教製 組 曲 イベリア 全三社 管絃楽 司 伴 樂一七番 トラアルト作 あ灰エーム !色」のム

サアイスのなり ずエルロ 兄口 巴里オペラ座首編部員 管蔵樂件奏

ボリス・ゴドウノフト ヴ 木 H

廿九日入港ナガラ號にて浦鹽

スペインのセレナードップオカリン (モーツアルトの主題による)

続けよ! 黒雀を! フリイト

松樂四重要曲 ト長嗣 レーナアー 被樂四重要曲 ト長嗣 レーナアー 名 曲レコード

料飲凉清

會を昭和キネマでトーキーに撮る。1972年の全関中等単校野場大 (版名)が千代田通七番地先には氷雪行路人類生町十河村きよ

でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

賴 兩級性立 運動

三福屋履物店

財政保証の上近く内地へ発達する したので二十八日夜シズを木署に したので二十八日夜シズを木署に したので二十八日夜シズを木署に

新活字

ナを採用

けふ來連

学振用後のなれは一一一一時期からる中別を以て我愛職者に見ゆべく、されない一般につき一行、機能随行数に於て一段につき三行を増すこと、なる。言ふまでもなく新活結果、いよく入月一日の紙面よりだを使用すること、なつた。比結果似名付記事面に然て イント牛の新活字こ入替ふべく既にこと用に配り戦闘を進めたる五の語字は些が震難に願するを以て断然全部の敗鑄を行ひれるポストとはことを開語字の粃糠種だを信ひ以て戦闘の戦闘を加して来たが、現在のセポイントと が常に難らざる職者率仕の一端である 昭和四年七月

一般上野進三氏は二十九日午前十一時の方だ歌社学の外の観立した新観合野観した野町して質りたいと願い出たが観合野観にないといいと呼び出たが、 されたものである。

夏期大學開講

▲ 道像と進化 駒井鵬師自七月三十日至八月三日午後三時半より ▲ 瀬洲の外交的意義。 矢野講師自 ・ 大野講師自 ・ 大野講師自七月三

83 70

電話級二百米を窃吸事件あり犯二時頃より四時四十分頃雲での二時頃より四時四十分頃雲での記話記録を記録といいます。 年五月米國製ビク

送別者を催す皆 様の御通學にゴム防水 梅雨の空…… 振くり三個五十銭まで 振くない。 「一銭より三個五十銭まで



社

に病腸胃性慢 の朝明でんの晩夕

八月一日よりの本紙



デ盃決戰に米國惜敗

満供軍の動靜

通行人から一千元强奪し

追跡の巡査が逮捕

あった『京城』

をはまるではまなでは、まことに関している土地だった。まことに関しているれが下ンテナであれが単性れる土地だ

物をしいお別れから

たのは顧る 作力士の は顧る

威傷的な柳樹屯行

彌生高女生の聚落

たがそれを切つかけに貯板の上、線に載せた一人が歌を見ひだし

・ヤブテンの肩端に綺麗ないかめ

うそよ、微微と連ふわ民 ので、叱られる。 「あら

一村の書がタンとして表が絵で笑。 一村の書がタンとして表が絵で笑。 の一村の書がタンとして表が絵で笑。 の一村の書が一村の出語。通知行列の の一村の上記でを出高女の側間 のトランク、スーツケー

道ひないはど女野生らしい無不にでも行く様ないよりれて世界一周が にでも行く様ないよりれて世界一周が にでも行く様ないないはど女野生らしい無不 にでも行く様ないなしい「お別 が脱ぎて既首に割られて世界一周が を映る、一人く を表しいわネーと云

た風の威傷的な面持で

通り、銀貨車の港に入る、駅間 地に貼が進む、いつか駅落成を 乗りのでは、10つか駅落成を

三四、五年出が炊事」 在職操師累で三氏の録め三十氏子に」との抗議で滅滅が、 中装造氏は何んも不比難述に就きりますから掃除の方に 柳部崎田 神越維氏及暗紫理部 髪顱りますから掃除の方に 柳部崎田 神越維氏及暗紫理部 髪顱いことの抗議で滅滅が 中装造氏は何んも不比難述に就き

浪速町三丁目

B B 五円掛掛

鄞

申於期日 肾一日司 九月七日子

期日マナメ切り

满會,場合小

女醫永井

知申上候他の関係を表する。

海峡養 常盤橋のマルイ 新豐鲜富

びよたお美御 でう方受活贈 元 0 か皆な 一つ等に

皆様にキット

御氣に召す

佛蘭西料理

御出連の節は是

良い鑑識は

樂園莊の潮風呂山ミ海の絶景なる

一日より

御料理を始めました是

家族會は實費引受部屋貸し

込所

大連市美濃町工

南行貨物激增

長春驛は轉手古舞

兩支店

111 155克1111克斯

株式の郷取りは山

画



サナス 店

天理市伊努町港速町南

導いのすにく 者小時る族自 と父正知行然

AND TO

山け佐し代物の港区で及るのでは、 **四**年年年年年 本用用用用用用用

定検のを五〇〇 仮定常加〇〇〇 全間大へ、のの 生物生での証明の大概が展別等に大なる問題なを照

宣干

萬

圓

重

版

版價廉大の前空・册大最の中書理料



電話 六 医 大連市信濃町以 獨 N 逸 K 破略。 一岩代町角 0 設提供。 = 根 服 科 醫 院

資本金 支店所在地 大邁市伊勢町六十九番梅 滿 頭取

行 和原物企所以 中野無常 白機構業のの 豆椒 支票商店,會

一覧出力の

を有する支那料理味覺七千年の歴史 土座を占むるもの 特製国人の大冊美本價四六判總紙敷六百頁定 五十

位本樣客御 Z 献月月ケナ 職権大革 (数)大 込(名) 石部 同 と割り 間は山瀬路 間口達 同内 時常 ジュラ ツラ装置 本理,文田人思光光等 **国。** 國計劃計本支援為 养養本 蓄音器 的問題使本何時長人們四開同樣 資 主 平 東面 東面 東京 森 是什小平似乎何色小大家甲侧山 国國在大學 医人种模型设施 **明全 田田宝 15 件 東**段 和波塔斯拉皮特别并由并研究計劃 SONEASS 會商 架角町速浪進大

內地製簾椅子 大連市大山通(三越町) 家具類澤山着荷 神市成象 岩 M 2 時間 二七 木 五行

瀧波綠

は かれ 当少年理料物 変信 一周七十八日 業人 変信 一周七十八日 業人 変信 一周七十八日 業人 変信 一周七十八日 業人 國之前

ANHAC INNIBA

大大会の関係にある。 一大大会の関係にある。 一大大会のである。 一大会のである。 一大会のである。 一大大会のである。 一大大会のである。 一大会のである。 一大会のである

並んでゐる、墓地の中程に四メ 東ましき事兵の永久のベッドが 変ましき事兵の永久のベッドが

シャ墓地

青

| 大型石 | 大型

利 茶 モリタヤ販賣が クレブシン 店

電話立八〇四番

全と確認の被害院は100で英大な現金と確認の被害院時間を所持し居の被害院時間を所持し居り直に恐れ入った。果と郷とは二り直に恐れ入った。果と郷とは二

車は一時停車徐行してゐる事は一時停車徐行してゐる

の上價格の御批判願候例品と工場製品御高覽の上價格の御好みに應じ塗替へ、修繕、締め直し等安へ、修繕、締め直し等安全、修繕、締め直し等安全の上價格の御批判願候 支旅樟金革家 那行製製製具 各 名各 ララ物

心細くなつた附屬地

探中である

天附屬地における住宅は最近一 を除く外住宅建 の買收地は埋立が終つでも地盤 家屋の糖薬は出来ぬ、そこでど うしても前記の場所を早く解決 しなければならぬのであるが、端 しなければならぬのであるが、端

南行託送手荷物

駅市場通九丁目業種商根村秀場で、二十六日午前二片の質夜中に安東

平北奥地

市場通の火事

10 年成たけはどうしたものかり、 大から好かれる。一時の食料は が四百目で域で、ソロリ、ソ 思 の手成たけはどうしたものか 的に借じられてゐる不幸者で

機翻の道路は洗失、浸水の筒戸 を増水二十七日午前署時には七 を増水二十七日午前署時には七 間浦に設ける階級江の水位は刻 間浦に設ける階級江の水位は刻

間盗に漢語に達した報告に依 の経済に達した報告に依 の経済に達した報告に依 の経済に変

ある

るるのがフォックス(孤) 君 をものとして替から知られて があれられて

の着さでは少々弱つてるるとと ちに入れられこ は一大学の他で見るに至った は一大学の他で見る。 本一三〇ミリ以上の影响るり、 本一三〇ミリ以上の影响るり、 本語解析に達し、各地への交通液を を動かれる。 を動かる。 を一つたる。 様なる。

人間の方が徐程人間をグマシ合 をだますものと信ぜられ宣威を をだますものと信ぜられ宣威を でするが、漢に雪はすれば

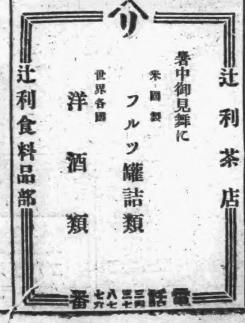
場質配の化身もこの者等の祖場を呼がし

が何に神能不思いの

件がの

大連石炭商組合 がためののは 四00

入院應需 近 一 五四六九番



富士網

裝

モリタヤ 皆様なまちかねの 婦人子供洋服専門の店

酢漢留置場で

無茶苦茶暴る

樽づめ生ビールが 盛夏を忘る 二階ホールも夏向きに新装を とらしました。 夏の夕べのオニプラの総督を 眺めながらの 生ビールの味は 又格别

サクラカフヱー

職員祭化ホテル、日職、金液樓良之助、會計評職員あさび、評良之助、會計評職員あさび、評

奥さん達の意見

ん連の意

の意見

れば自然之に撃

た、論なをを支持をを支持をある。

馬賊ご交戦 支那軍隊

馬賊現る

蔡家驛西方に

偽刑事と自稱

顔がたる

公主嶺

ことを繋ずる智道合し を配解は治ど構織を新聞せ、午後零時二十分貨等骨大の石十七 を配解は治ど構織をず、八解を順上に遊べて居たのを下り るものも支那側に有利 大十七別率に繋がして居た流陽機 に要合的肥準に限られ 臓な形を発さる。 に要合的肥準に限られ 臓な形態を変形をできた。 に要合的肥準に限られ して居た流感機を に要合的肥準に限られ して居た流感機を に要合のをできた。 に要合の形態を に要合の形態を に要合の肥準に関いて、 に要合の肥準に関いて、 に要合の肥準に関いて、 に要合の形態を に要合の形態を に要合の肥準に表形を に要合の肥準に関いて、 に要合の形態を に要合のを に要合の に要合のを に要合の に要合

下畝氏の新案

鮮人の行金拐帶

缺ぐべからざる必需品なり毛糸、毛織物、絹物の洗濯に

大增水

MANCHURIA SOAP MFG.COM

倉和昌信亞 久古 堂 精成島屋 洋藥藥洋米 藥洋 行房房行所號房行

號はゼ 製品

(マルセル)石敷同質の優良品にして使用歪つて軽信

果価めて超大なり

は ゼネラル・モー 徹底的研究の成果なり ター

ス製自動車

動車を提供し得るのである。 所の産める多數の自動車工業上の發明又は改良の質例である。 祉が有する同種の施設のうち 最大にして 最新式なるものでめ 維持し得るこころである。是れあるが為めに 如き大規模の施設は世界最大の製造會社たるゼネラル 動力を有するゆゑんは、自動車製造及び運轉の原理に關して斯 米國ラシ る、電氣始動機、蓄電池點火、有名なるデューコ塗飾等は此實験 る宏大なる研究實驗所がある、此實驗所は世界中の一自動車會 ゼネラル -スは各購入者に對して最低値段を以て最良機構の最新式自 、間斷なき根本的研究を續りて行くからである、而して斯くの スの如き絶大なる資源に實力とを有するものにして初めて ガン州デトロイド市にはゼネラル・モータースに属す -タース製各自動車の壽命長人にして卓絶せる作

ルモ タース會社 生

海

北

楊子路

三號

3,

一〇番地

大阪鬼塚化學研究所

たので急いでかけよると発生は よるなふと発生がお呼びになつ いるないと発生がお呼びになっ 石や金組で傷の着く茶根色のや たわけである。脳層は其のひと なる場の地層はシエールと言ふ があ場の地層はシエールと言ふ つた場情が彼の様にゆがみそれがひえたりして、きれいに順な ときの成からづれて動物となっ に、ひゃが入り「ずとん」とひ

まつのであつた。

こべちようド鞍山中摩三年の

二人はかい

後でなつかしい友を

其の時は丁度離別で大被が「ざい天氣であつた。

がずつと普地震があつたり様珠

y

れいに加な

もなくむゆくばかの晴べし

指にたり丁度地を板の標に重ね んで何後萬年と立つ中にそれが して何後萬年と立つ中にそれが

がない。それは数と一しよにお とかぶせてある地暦は間を含っ せる石と共の それは彼と一しよにお 岩とがふつか 「ピリくくく」となる館の音と、ともに現生は水の上を「ば ちやく」と音を立てながら走りだした。

私のは 大 鳥

だと思った。

お残さんに、いつも はながて んじょうにむい

かぐれに雨しと

御頭の間やられしき水たまり 橋野 享一

題の様子供ようこぶ水たま 橋野 享

が私にばつとあかる

に現のはなはてんじょうへむい に現のはなはてんじょうへむい でわるのかしらんと思ふの時々 はなをつましれる。私 好様にこう 初題に出とり

成日、私が學校へきて見て、数

うにむいてあるな」といはれる

壁へはいると、前川さんたちが

水たまりぜんととびこれ背 熊公がす

前贈さんが「大島……さんの」と聞くと

てから、

さんのし

はこのてんじょうへむいてるは

なを、とつてしまひ

私は、交前川さんにつどこが、

私はおほ

にいくのに、仕なが

おかしいのね」と聞いたら、

ければなりませんので、ざんね 立つところまで来た。

芳登

子月 學

オる事を解棄なかった。私は出れて行かれた。

星ケ浦海岸にて

開原小學校舞六

田

大の様なことを説明して下さつ

まけて御飯をたべはじめ其の御

ア度七月十七日の顔食後の散歩 の時の事であつた。少し散歩を しやうと言ふので寫な道具を持ち先生と一しよに震慄の方へ常

「地層と斷層」

人はしよぼくと食堂の戸を

かなかつた。やがて御飯がす

とばらくしてからはつぎくくと 独がつきなかつた。 かんピンの先生 美の時だつた。ハルピンの先生

来なかつた。

ばらくしてからはつぎ

は最初の言葉がどうしても出

のよ、核長妊生におつしやつた

はないのよ。きつとあの人はは

「あの人ならば私をわす

であつた。

ならきつと合っておるでとおつ

出島さんもぞれには答へなかつしゃるわねに

心にきめて御味へ及った。

私の胸から常にはなれぬ姿 このと笑つておじぎ をす

語の

似ちやんを部屋につ

出島さんは「ねえ兄さん塚本さ」

だんと、水水大館の酸塩がする 東天春日小學校 等六 ゴ拾ひ 清子 ある、おほいそぎでそれを水泳 者の中にいれたら又容いてきた まだ一つもリンゴをとつてゐな してやつと五つばかりとつ

ほんとうにせいの高い人は便利 皆なはせいが立つからたくさ 私はなぜこんなに小さいのだら とつて来たやちだ。 てもどつて来た。

僕のよこにお父さんがすやり 夕立にむかひの屋根のしいき とねむつていらつしゃつた。 率天驯生小凤校五年生 俳 句

と見へて、ふと目をさました時 味べれむれなかつた。

びしくてたまらないので、とこ 僕は水をよみ出した。 時間を見るともら八時中ごろでの中へもぐりこみました。

なつたと思へばらら 彩 明時のな 吉林小學校等六 懸命かべつて来てやつとせいの へやは「シイン」としづまりか いへなかつたの おつしやつた。

お炙さんが「僕は町へいつて来 まらなくお父さんは仕腹をと 僕は「はい」といつたきり後が るからおるすをしておいでし と のへてお内を出ました。



"WAIKIKI" BRAND HAWAIIAN PINE-APPLE

開船物に・田子様方のおやつに・ピールの肴に◆ 御来客様に・御食後のフルーツに・海に山に・

ワイキキ印パインアツブル

講腔の御喜びも皆様の御嗜好に最も適するが故で8

店行關號店行會行行行店

多少に拘らず御用命を願生候 東亞印刷能大連支店 石

高衆は

蠅·南京蟲·蚊·其他害蟲一切

御使用を乞ふ

爺 矢野元商店

特約店募集



見る~、丸る~~と肥りまして此の健康

展監會

あしたがめれば、ながめる程度、い果しもない彩の時には一そうのほかけ船が浮心である。

た人を見ると、手に一ばいもつ

やまな、てんじようにむいて

なしくなる。様がたらにこの

もちつてくれないかと思ふと

E

猜 組 上

いつてよ、だからよんで来てちんがもつと照ちやんとお話した

海水よく

だと思いながら様々の人の様子

イモウト 沙河口小學校一年

ずるぶんきたないことをする人

ボク

1

シの中にいれて来た人もるる。

を見てゐた。數は情おなじく

公主強小學校五年

一班、二班も十んでいよ

石原正文

ハモイコトハ

デス。

ボク

かりた時二度他なほりする時の か型域であの照ちゃんとけんく お見様は残ひなから又お節屋へようだい」 八つて行かれた、 尿とかわらないのであつた。 態ちやんがちよこと しと起って 私は大連へ来た時はまだ少し

長春西版場小學校六年

本八重

なり行を聴くとほんとに三年かれ野校をこひしく思ひ小野校の でながらそれからそれへと聞し 其の話してゐるうち私は照ちや 私は照ちゃんのかたをかるくな にさせつた。一しようけんめい およげなかつたので私はしや

であったよけーそうられしかったいけーそうられしかったとは夢にも思はぬ事

あるよし

起は其の時大へんうれしく思っ

そかなしくわかれに脳ちゃん

だらきたの。 脂らやんあそこに

なた時とかわらぬ小がらな身體をあたべて飛び出した。

私は出島さんに、

もなかつた。

にもの話で私はおどろきの経

やんの来るのか

人はしばらく無言のまと照ち

はじめた。

まてどもく関ちやんは来そら

やはり照ちゃんわ起の一ばんの 時帯しだ。どうかもつとこの照 ちゃんと伸よくお話した。 ちゃんと伸よくお話した。 ないでかはなかはなかつた私 ら五年までの事を思はされるの が身體がぼかんとういた。私はが身體がぼかんとういた。私は B立つとこはんへかほをつけまてなかく、およげません。二三 ないました。毎日けいこしてる私はこの日が一番おもしろうご のため後の方へおされてしまつ でおよぐけいこをしたが、なみ ました。やつとおよげるように 米突くらいおよげるようになりなりました。そして其の中に一 立ち上ると大きななみでだいへ る内になみも一つもとはくなく した。するとなみがきたので、

としづんだっぴつくりして一生

めて水泳着の時にいれるつもり である。

私もたとうと思つたらぶくと 東て一つとつたるも一つとる て立てなくなつた。一生態 つたのもにげてしまつた。けつ からはづれたのついいて後にと きょく何もなくなつてしまった こんどは前にとつたリンゴが手 いでやつとリンゴのある所まで ことすこし行くと 「はちや

五ジニナツタラ さびしい夜 イデス。パン・ コピマス。ト イキマ ウ サン テ ス ボノ カ

松林小學校三年

かりである。 僕たちは、ダはんが今すんだば

タカイデス。こ ボクノーア 31

粧唱 團團 吉子竹枚枚

へ店弊の店門

大いに湧く大相

△八百米リ ▲三斎安永

の旅

日本

周旅行

明三十一日限り申込締切(B級満員)

へ 本高の花(吊りやぐら)常院献 本高の花(吊りやぐら)常院献 本さした

を 中学よりサルに 大田 本町宛左の知き感を 中学よりサルに 本町宛左の知き感

金栗四二氏

明日は土用の丑

紫 檀 知

典雅にして

貴品まる

土用鰻一かばやき

求めらる 解表提出を 青島中學謝電

幸に優勝の榮を得費社の御高即 を謝す

五糖

本の大きを以て大阪し同三 本を幅続(11中) を開始なる1中軍に五十監禁 中) 本の着片岡 に繋がたるも練習で足のため 島(青中) をしたるも練習で足のため 一着片岡 に繋がたるも練習で足のため 一着片岡 に繋がたるも練習で足のため 一着片岡 ・一巻を以て大阪し同三 本を幅続(11中) 本一等寺井

△千五百3 四等世

小林(二中)▲三番編二中)二分十五分五

青中

五〇

二五で

野老虎蘇附近に二名の母

對大連二中陸上競技會 軍慘敗

百米で一番となった二中の奥井】なは今三十日は午後一時より第一 入して署長の手により認可する 別し建築技師及技手を其一部に 改正要點

月

り禁止中のところ本日解禁された大事件があつたが記事掲載を其筋よた事件があつたが記事掲載を其筋よる財産の支那共産黨員が潜入し去るサーク製の支那共産黨員が潜入し去るサークを対している。

建築規則

り禁止中のところは事件があった事件があった

は八月一日の販売をよって市中の監接を配らりとする。 一部の販売に基くもので水が、一部の販売に基くもので水が、一部の販売を配らりとする。 大月一日の販売の出資さへ保証、一部に関ってるるが場合と協力に関ってるるが場合と協力。

上海に 人的 共産黨一派の策動か 水道罷業

『上海二十九日發電』上海水道局 物機浦が移りで設定。 に杭州路局從変員はまる二十五日 に杭州路局從変員はまる二十五日 で上窓は今や水攻めの苦みに鳴かい で上窓は今や水攻めの苦みに鳴かい

岐阜市の大火

四十餘戸燒く

一金式干別也 一金式干別也 一金式干別也

路士心

水夫海に墜っ あめりか丸から 布之通候也大連醬油株式會吃 金五百個也 社員退職準備金 子高 人名西西西地 社員退職準備金 子為 人名英国 电 當 金 经 人名英奥金 化

電話七四二九番

内地焼酎(實印)

內地酒粕

ら漬の御用意に

大連署では三十日守蔵入時二十分大連署では三十日守蔵入時二十分下大連署では三十日守蔵入時二十分下 至つた無事が助する事を得た旨商 を中に懸落したのでしばし降船し を中に懸落したのでしばし降船し 航行中、計制水夫一名が過まつて 明日は土田の出 例年の通り致します 並に間品団手間大 恵 市 吉 野 町(三 蔵

授與式

大連署精動證書

中澤不二雄氏嚴父 **路廿九日午後** 二雌氏殿父敏

を去る南十八度東六海里の地域を出る南十八度東六海里の地域を出る。

・川上、北夫人。非様、市内 越後町川上賢三氏の部子夫人は去 越後町川上賢三氏の部子夫人は去 を計入計学後逝去、群様は三十日 年後四時学より出等大社教分院に て教行のはず 大勉强致します

中大三丁波 | 「東京二十九日登画」 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | ラデス

緣

貴金屬製作

大村ッ

各種製造販賣

日午前十一時 日午前十一時 日午前十一時 日午後零時三十分 日午後零時三十分 日午後零時三十分 相場。後齡、徐太、各地 相場。 日午後、 日午後、 日午後、 日午後、 日午後、 日午後、 日午後、 日午後

優勝旗争奪の幕下決勝 きのふ大和錦優勝

出しのと特物出羽が繋が裏を見せたの

薬猛烈に寄り残るを突放してさしてくひ投げを打ち

パリー二十九日發

小歌左さし必死に寄る

13

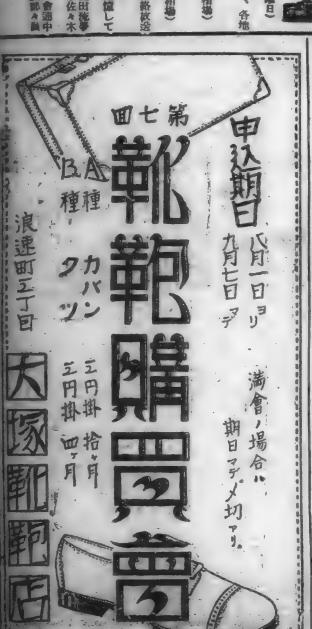
4ぞとはたきこめば見事と合ひ天龍小手投げを打

4四つに變じ新春機

危機を切り拔く

ン氏組閣

現閣員全部を繼承



當前他未配株支社社諮別法資 合期期 當式排員選却核稅 利繰 拂未未 野職 和 金融 排拂 資備立立 金金店企企企形企金企企企金 東亞印刷珠會社 智賀工事が書 愛 行 所 日本各地名産 世界 各國 酒類 東京風菓子謹製 金額大会会を持入二日後の会員と 例年の通り勉強致します 大連市音野町七五 明日は土用の丑 うす茶舞 ももるこ 吾妻しるこ 土用うなぎ 食 ボケット羊羹 术 饅 設オ 000

氣事業

著♦

《可爾伽美華書三百八字

宣傳ピラやパ

共產黨員

受けた。は影響

中を利用し幕内

金井廣章畵伯

作品頒布會

天龍が

を吊り出し優勝した。若常陸の四人を寄り

大若和天若州の張州常教

ひ藤の寄るを打ちやつ

教育會記念事

過



におり相害長期に宜るべきにより露園及び外國資本の侵入を防止しつ、經濟環における電腦の を選に置られたいと姿態して來た、銀行工會は廿九日大館を開いてさが設合を決するはずでも を選に置られたいと姿態して來た、銀行工會は廿九日大館を開いてさが設合を決するはずでも のが多分級變良氏の希望通り周行民氏等の実践となるでもらう、右は東海関連が今後外交へ多 のが多分級變良氏の希望通り周行民氏等の実践となるでもらう、右は東海関連が今後外交へ多 のが多分級變良氏の希望通り周行民氏等の実践となるでもらう、右は東海関連が今後外交へ多 のが多分級變良氏の希望通り周行民氏等の実践となるでもらう、右は東海関連が今後外交へ多 のとは、相害長期に宜るべきにより露園及び外國資本の侵入を防止しつ、經濟環境の手にて占めら

對露交涉委員任命 朱、韓兩氏哈市へ急行

は北平二十八日登電」 関民政府は朱紹煕氏を戦闘を指揮に置るはずで、斯で支那は**戦争時期**教職政、魏代樹、魏武縣、丹榮憲氏等と国力し事ら抗断に置るはずで、斯で支那は戦争時級教験の教徒情報、魏武郎、丹榮憲氏等と国力し事ら抗断に置るはずで、斯で支那は戦争時級教験の教徒を対した、戦闘氏は賦行へヘルビンへ向った、一行は叛敗が敗戦闘争戦後を被害を指揮に任命すると共に未赴任の軍 「「「「「「「「「」」」」、「「「」」、「「「」」、「「「」」、「「」」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「

奉天勞農領事等

に語った

けふ本國へ向ふ

勞農の要求全部を容れ

打合せがあった

日本が満洲に 軍隊四千を増派 支那新聞の反日記事

國境守備に就く

勞農軍も移動對抗

高度に シア人一般 金属銀字佐美麗道等

のであるが、之に動する國民政府、軍隊を増減し交山本統統総線に命く反記事を書き立てよるる 一方であるが、之に動する國民政府、軍隊を増減し交山本統統総線に命く反記事を書き立てよるる の三ケ條を同提要件としてゐるも、本政府は最近長春、寒春に四千の「遊夫の利を聞るべく波々たるが如 四千、砲兵一千で縮州里、達来話しる時、1000年に 引力の三ケ條を同提要件としてゐるも、本政府は最近長春、寒春に四千の「遊夫の利を聞るべく波々たるが如 四千、砲兵一千で縮州里、達来話して日本が 支那軍は立を以て國際を固め歩兵 大連に 引力の まずるごと 文彦がソウェートの各地間に 『上海特電二十九日章』 今期の賞 じてヘルピン或は響命によつてロ 名は國際財産派に配帰された。元 り東方に向ってを断しつよあり はすること のと信ぜられてゐるが、談交形 一、東支機道を場跃に復すること 一、東支機道を場跃に復すること に入るソウェート政府の態度は

ひのものも、学年や一年馴染ん はせるのが脳のは、頭からガミにしい人でね、私のやうな附添 としても一寸唇鏡をピクく (変の大将(無論山本氏を指す) して居る事など減多にない、時家の大将(無論山本氏を指す) して居る事など減多にない、時家の大将(無論山本氏を指す) としても一寸唇焼をピクーのないとなど ます、たるにも起きるにも前く なことはドシ (自分でされ なことはドシ (自分でされ

家の大將

中面を知る一ツの材料であらう

解める山本満鐵總裁

半

面

村松君の観た

追に進ひますよ 宴會を氣にす る村松君

百

=

られの事 星の家女將叱

に言つて居るが、ツイ

い位心間して居る。村後者立つても居られな 一萬一のことがあったら夫人に

【満洲里二十八日發電】西伯利十一には勢最官艦のため監禁されて

兩地領事の消息不明

ルクツク、チタ、ウエルフネウジ

今明日中に満洲里蘭、ハル

おけ、足の家になける就場合と、保かり、足の家にはける就場合と、村級和自ら配っては一般のなったというのないを見いて見るので、保さいと、村級和自ら配っては一般に関うず此の始ま、とこれ」とというの家の女人を終めている。

クの支頭関帯は尚指息不明で一般。像名の共産主義者本日午後衛地のコエシエチエンスク。ヘバロウス 【ロンドン二十八日最電一級二百コエシエチエンスク。ヘバロウス 【ロンドン二十八日最電一級二百

ゴエシエチエンスク、ヘパロウス

で示威

支那公使館前

剛東廳實行豫算

原案通り通過 遞信局、法院方面削減

農業實習所評

議員決定

現業員十 長哈間列車を した赤を 員復職せず

質より浦壁に向ふはず

演習さ稱し

勞農機發砲

東郷水産會に於ては本日午後一

長官會議に列席

直ぐ歸つて來る

ける上なした藤岡警務局長談

満洲里方面で

ED

東北四省の

黨務指導委員會

來る九月中に正式成立

単獨交渉で

解決の見込充分

朱全權、北平で語る

が表示したが氏は 他名 余のヘルピン行は東側面壁の總 河東にて、また天津性信他を 会のヘルピン行は東側面壁の總 河東にて、また天津性信他を 表の資格は持つてゐない、差當 は開始 り何れに根本的解解ありや否や では 新 の 事件は軍領交渉で十分に解決 に相信 の 事件は軍領交渉で十分に解決 に相信 の 事件は軍領交渉で十分に解決 勞農各團體

「氣勢を揚ぐ 食糧は豐富で物價等も安定

◇一字佐美鐵道部長親察談

聲明要旨

市政に開する

大觀

小

露支間 因交口超は十五

極東支那領事を

監禁の噂傳はる

物質も安定してある のでは、 第三世、並石、直井三氏よれ

所鑑、大

は十一月中に中幕市要素を市會 一大中島の幸先にかられたが破滅。一般成を求められたが破滅。 で提案すること に提案すること に提案すること に提案すること にとなったが破滅。 でなるのか知ら。

本のにて一座配住の意を表示せるに満中に入らぬこと。

は無からん之語等の難解として石本氏の市が変を表示すると、

「は無からん之語等の難解として石本氏の市が変を表示すると、

「は無からん之語等の難解として石本氏の市が変を表示すると、

「は無からん之語等の難解として石本氏の市が変を表示する之より遊戏に石本氏の市が変を表示する之より遊戏とない。

「は無からん之語等の難解として石本氏の市が変を表示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思示する之より遊戏とない。

「本の数を思いる。

「本の数を思っては夢想だしきまっては夢想が、

「本の数を思っては夢想だしきまっては夢想が、

「本の数を思っては夢想だしきまっては夢想が、

「本の数を思っては夢想が、

「本の数を思っては夢ない、

「本の数を思っている。

「本の数を思っている。」

「本のなる。」

「本のなる。」

「本のなる。」

「本のなる。」

「本のなるる。」

「本のなる。」

「本のなるる。」

「本のなるる。」

「本の

三十日(編9一時暗:東南の風田出 四、五一 日没七、〇八 満瀬曾 三、四〇 後 三、四〇 千穂明一〇、一〇 後一〇、三〇 各地の 温度 十一時 昨日最高十一時 昨日最高 1100円 110

要胎をお持ちして語ります。単根の御

た 船が浮んだと喜んで居る。 ▲山崎元幹以(滿娥文書課長) 関上 ↑村井啓文郎氏 (大遊火災保飯) 大人と子供の相違だ。 觀

は、十九年をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種々な目をよって見られてある。 の種と歌が主任同作業、市内を響い、 のは上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田席の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田席の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田席の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田席の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田の貸上京するんだよの論師能岳城 業質智所長 小原 田の貸上京するんだよの論師に 国地方 の長 の 日本 ◆字佐美寛廟氏(滿娥へ道部長) ▲泉文三氏、大遊岩春粉主任)員 氷富二夫氏(滿鐵形外課員) 上(滿鐵々道部形外 総集四重奏曲 ト長調をコラアルト作 でなり 司 仲 郷 で放果 組 曲 イ ボエームより ヴェ 名曲レ

コード

レナテベスト
粒集四重表面

聴けよし 悪雀を! アリイト

サアネルリーバットン

ドリッド交響管敵樂園 イルンコ

ハアブ四、重要曲全四枚 被樂四軍奏國

ボロネエスの説明 歌劇マリタナ スタングード・レコードより 4 コロムド交換情故樂園 ブルネマウス管弦楽画

アリアリアリませ ダンス・レコー 管 数 栄

コマイ・エ マン・リヴァ エンゼリン はペンダン・オール

日本コロムビア

上記さられ

和けれている。 を見違った此の日ー天晴れ渡り を見違った此の日ー天晴れ渡り を見違った此の日一天晴れ渡り を見違った此の日一天晴れ渡り である午前四時三 ちの飛行日和である午前四時三 ちの飛行日和である午前四時三 ちの出げがいき数呼祖 を対しまる。

は右にぐらつき右翼には出裂出来の模様である。 は一大の一大の一時間、他に使ればブロムレーや時には一大の一時間、他に使ればブロムレーや時に二十十十日では一下である。

不正行爲發見

開東殿では二十九ほ年嗣及郷から 腰下路部が振りのを踏む川県衆の受験者に万三十八名、その中 れてるた芥田選手は二十九日出場に於て自動卓運物手助職を動材と 誠の途に続いた、倫がれて釈迦はたが受験者二百三十八名、その中 れてるた芥田選手は二十九日出場にたが受験者に入一人名で計蔵 とのないた、倫がれて釈迦はたが受験者に対し、その中 れてるた芥田選手は二十九日出場にたが受験者によるという。 補供軍の動靜

辻强盗現はる

通行人から一千元强奪し

追跡の巡査が逮捕

水井婦人醫院 水井清子 財務處出立 入院隨意

運動靴 剂妻靜儀泳

五四一次

支那人の子供

凉 THE OFFI

◆…町子園の全関中等學校野塚大会を昭和キネマでトーキーに鑑め から一間二十銭 中今の鰻の相等は百匁五十銭 から一間二十銭

美滋養豐富 鮮富 用意あれ 常熱橋のマルイ

新活字 日よりの

ける來連

本る二十五日所名字を取って飲職を呼びユキが鍵見響築へ持ち出したので二十八日夜ツズを木器にしたので二十八日夜ツズを木器にしたので二十八日夜ツズを木器にしたので二十八日夜ツズを木器にしたので、1000年の上近く内地へ、送過する

部深勝野の松野は一層鮮明なる印刷を以て教皇職者に見ゆべく、ごれ歌政・田の語学は然な解釈に関するを以て断然全部の敗傷を行び、歌哲政行動に対す、一人替ふべく既に二ヶ月に取り戦闘を進めたるイント半の新活字、こ人替ふべく既に二ヶ月に取り戦闘を進めたるイント半の新活字、こ人替ふべく既に二ヶ月に取り戦闘を進めたるが、大概に臨に戦闘音がの戦闘を対して死たが、歌語の七ポイントも大概に臨に戦闘音がの戦闘を対して死たが、歌語の七ポイントも大概に臨に戦闘音がの戦闘を対して死たが、歌語の七ポイントも

が常に使らざる観者率仕の一端である 昭和四年七月

夏期大學開講

登明會を催す答 後六時半よりヤマトホテルに於て 電話級二百米を物展事件多り犯二時頃より四時四十分頃までの二時頃より四時四十分頃までの電話話線浴取二十八日午後 「薬洋行の政事

功様臓様の御通単にゴム防水 か断のならぬ 梅雨の空

日

ロの五い一等の榮起

猿廻しに

攫はる

へ…去る廿四日まで成別南道地方を現つた豪雨でまて成別南道地方 ◆… 計七店午後五時代與客大順市 場院貧店職務職使用人選美(こ。) は米雪代廠人乗生町十減材きよ は米雪代廠人乗生町十減材きよ 0

出した記典管科学が高売をおいれている。代方不明四名、合成十八名、代方不明四名、合成十八名、公成十八名、公成十八名、公成十八名、公成十八名、《公成》を あった『京城』

水産會事件で

けの牧事場が作られてゐる。カコム紀……校庭にはアンペラ掛

工円掛

四月

申込期日 八月一日司 九月七日子 満會り場合い 人切了!

召喚さる

あなた俗歌を歌って、叱られる。 いキャプテンの肩遮に綺麗な なが大にうたわれる。「あら からも影響の中からも、いかめたしたがそれを切つかけに甲板の上 のて、地られる いるら

建いないほど変響生らしい無限 気で調るい出致だ、テ切れる機 にヘンカチがふられて世界一局 にでも行く様な働々しい「お際 にやかられしばらくするとよう

威傷的な柳樹屯行

彌生高女生の聚落

しいお別れから

ではまるで日本家学の船と場と 大つた感じで、まことに演しまれると地だ

を受ける。 を表すではなっているですがポストは同様ですか?」、 ではなってはなってた。 を説を視さに有つて見ると、矢 ではなってた。 を説があり でもチンと描れてもあずの でもあり立てしると、矢 ではなってた。 を記があり でもますの でもある。 でもますの

精勤證授與

が戦って戦音に割られて行く取る 大戦の て戦音に割られて行く取る ではしいわれ」と云

《新兴中中中华王沙)

町工丁目

二届屋履物店

友親若川 人戚林上

びよたお美御 でう方受活贈 0 すれがにが答。 お皆な一品 つ等に

を明大式へ開業

初日被回回

三

根

眼

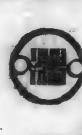
科

国

六百頁定

電話 六 医一〇番大連市信濃町岩代町角 獨乙製PLANO各種 ベヒシュタイン フォースタ ガスト 7

NKK 破。格。 值。 能 設 提 供 。 鳥羽洋



支店所在地

費本金 登千 大連市伊勢町六十 盤滿滿 萬

豆瓣

にの

を有する支那料理味覺七千年の歴史 こそ世界の料理の 王座を占むるもの

位本様客御賦月月ケ十 2 機能験大工 (数)大 (込む) 石房 何 と と 機能山機能 戦口達 同様 ラ装置 **器管理計劃計水支油**點 蓄音器 新規周到安本同門長太何巴開州權 主手 能是并小平弘平阿金小大京甲灣山 田部實際超文本會宏久會導展起榜 H文 HH文作 H 为 H BOASABE 會 而 梁 为可速促進大

松明传会所约 內地製籐椅子、 支票商店,會 本店大 家具類澤山着荷 W 市 成量 岩町 話商ニャ

成二二

話大國六

監話

白磯湍素ののの

里の

て一条射撃を貸したが、飛機に何等の損害を興へなかつたらしく。八艦とも置を噛れて喪山方子メートルの高さから報告筒及び模擬爆弾約三十箇を投下した。近に動し支那兵は三回に宜つ【ヘルピン特置二十九日寮電】廿九日午前十一時ポクラ市街上空に八墨の勢農飛行機現れ的一 蒙古、新疆主要地に

東那人より成る反響宣傳隊十職(一隊約二百名)を編成し奏古及び新四省の各主要都市に派出『北平神電二十九日雅』信书べき筋よりの情報によれば張學良、陽錫山廟氏は蒙古語に通ぜる 反露宣傳隊を派遣 約二千名を以て組織

和平解決の機運 益々濃厚の度を加ふ 出來るだけ衝突を避けるべく

関九十四銭に寄付いた

漸増の傾向

人は三千名

國際條約調印さる

赤十字協約改訂と捕虜取扱ひ規定

調印國三十六ケ國

戒嚴令を布き

防備を固む

メ總領事等引揚げて

豫想だにしなかつた

列車中の大談判

廿四日ハルビンにおいて

第二信 武

と、、、兄がやあのデョコナン うだつたが能も殆ど 相手にせずら来やらなどとは勿論思つて して関事館、満歳などへ帰へたそとは勿論思つて して関事館、満歳などへ帰へたその来でもなどとは勿論思ってして関事館、満歳などへ帰へたそので、 はいよのは関係を関するとなる。 といよのは疑問の方式を対したが、 哈爾美・一覧である。 といよのは疑問の方式を対したが、 といれのは関係を関すると、 では、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのは、 はいまのに、 はいまのは、 はいまのに、 はいまの

事金子子担がげて、一覧のため補達で認識された支那高版は、製品客 悪線領事と好俗せ中である。 は一千を集し松花江下流にて露軍 は右の緑板を求むべく浦鹽駐在門 観のため補豊で認識された支那人 聞と云はれ、湯漁線領事ストベル 観音は三百世 ドイツ領事釋放に奔走す

字協約の改訂で他は捕虜取り扱ひの規定である。
「図三十六ケ國で兩條約とも戰爭の方法に関する規定で一は赤十多して二つの重大なる國際條約がゼネヴアで調印された、調印、「ボネヴア二十八日發電」不戰條約が効力を發したと時を同じ

の動た、小崎木安は長から置き低れがけぬ大橋線が起を待ち置い、小崎木安は長から置き

の交換を行ひ正午職去したでは、一時の状況につき情報を聴収し窓支粉等其の状況につき情報を聴収し窓支粉等其のない。 二千に足らず 滿洲里在住民 長春支那側で 小麥輸出を禁止 人民會に籠城 助役、收入役選舉 恩田新市會議長と

昨朝ボクラ市街上空に現はれ

にヘルピンの電ニ十九日秋 支那 種的な認識的原因に因るもの多く を相似は電用食糧勢ごを要慮する課業 電なる特温條件の要求が大部分を 製氏の一般により廿五日常地方に しいの 一般により廿五日常地方に しいの 一般により廿五日常地方に しいてるる を相似は電用食糧勢ごを要慮する課業 電なる特温條件の要求が大部分を をであるに至った」の常地交易所小 を相似は電用食糧勢ごを要慮する課業 電かる特温條件の要求が大部分を をである。 軍用食糧缺乏を憂ひ 就職

0

現内閣の社會政策

戦争の方法に闘する

一、滑海地・鐵徹及び鞍山(豫定) つた 一、滑海地・鐵徹及び鞍山(豫定) つた 一、滑海地・鐵徹及び鞍山(豫定) つた

北田一は大連門文館成者を設定にて三十一時午後六時代ヤマトホテ豆 新伝統等のため各方面を極勝した郷氏は大岩平宮を経っ十九日来選は解する。一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、 畑軍司令官の

地司令官

危機を切り拔く アン氏組閣 現閣員全部を繼承

ブリアン氏聲明「スリーニ十八日曜日

会は二十九日各政黨首領と相談し同日夕刻までには組閣を終 談し退出後左の如く登表した は別の命を受けたブリアン氏は今クツーメルグ大統領を訪ひ熱

八百萬間となつて居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠 八百萬間となって居り郷常瓊明誠

大蔵省では止めたい意向 概算出揃は八川十日頃か

鐵道省實行豫算 編成に着手

とも解く之から調査に離判する紙」いと希望してゐる、即ち前内閣のる同省實行漢算。成に着手したのが實行確算級成に手間取:各省は成るべく十六億職内外に此め底十九日から省等を開き物別館間た「類集挺出期は八月十日となつてゐ」となれであらうと見られ、大碳省(東京二十九日愛電)鏡道省は二個東京二十八日發電」昭和四年度、底であるので出摘ふのは二十日頃、女材「厂」、一十二月

滿洲獨立守備隊 感よ増設に決定す 本年末着手し昭和六年末完成 增置部隊步兵二大隊

| 大連市會議長 | 大連市會 | 大型市會 | 大型市 | 大型市會 | 大型市會 | 大型市 |

不老長生の活元 生命の霊素

清朝秘法

配當は年九歩

警察の権限擴張

人事異動

十五萬を突破す

(四)

第一日の成績

苦力の殉職

自働電話が開通

だ順スケツチ

SPATCHAR. IN . B C.

並んでゐる、墓地の中程に思える。

カシャの四角い

森の一世

任宅地の

心細くなつた附層地・

戒めらる

南行託送手荷物

特別検査を開始

八月一日から税関

安

一時閉延した、

市場通の火事

らが少くない模様

南滿火工品會社

既市場通九丁目遊園商及村秀信

平北奥地

の報に接したので、振順署員が の報に接したので、振順署員が の報に接したので、振順署員が の報に接したので、振順署員が の報に接したので、振順署員が つた成、益々狂り狂ふので留置 直の柔道三段縣山君を吸憶めた

全飲食店の死活問題化せん

飲食部を開かん

致した感

品種時間制限の 聲明を無視し

開設準備着々進行す

モリタヤ 夏を忘る

辞漢 留置場 て

無茶苦茶暴る

夏の夕べのナニブラの推査を

味めながらの 生ビールの味は

職員松花ホテル、日鐵、金波樓 県立助、倉計計議員あさひ、許 のでは、 ので

側の意

の上價格の場合と工場の

支族樟金革家 各



派によって

が四百目平均で、 人から好かれる。一

ある

大路勝地における住宅は転送しれば住宅地は全くなくなる心。 体店舗向建設地として をなったが、之につき安 となったが、之につき安 を除く外住宅建

を改善業すれば現在の收容力のもが、商業地景内の住宅その地 の病院に入院治療中、花園の病院に入院治療を発生を持ちて持ち

的に何じられてゐる不學者で 行脚

★ 名物三週間の豫定 「名称三週間の豫定」十七日夜菱簟で 「本の一十十日でです。 「本の一十十日でです。」 「本の一十十日できる。」 「本の一十日でです。」 「本の一十日でです。 「

遠

は 大から好かれる。一日の食料は 書江出水のかめ前形、近泉社は 大から好かれる。一日の食料は 書江出水のかめ前形、近泉社は 大から好かれる。一日の食料は 書江出水のかめ前形、近泉社は 大がの中から道ひ出て水る間 十箇所に達し、各地への効果を 大きない中から道ひ出て水る間 十箇所に達し、各地への効果を は、水油が観問の情報の決淡流生 をおいていていていていています。 難し、各地への交通条列機能の運動の決強液失

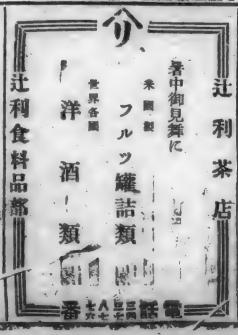
應急修理 基礎が崩壊

プラ敗る

す件の公判







田畑木材の損害多し

見た。其原上現職者に引渡したとであるが、上、八尺によるのを發見したのであるが、七、八尺によるのを發見したのであるが、とれば、これ等是紫の懇談を暇貫に戒佐のこれが、上、八尺によるのを發見したのであるが、 七、八尺に 」あるのを設見したのであるが、

養家飼に二十三日の午後三時軍服近はお客で継者祭家職西方十二支里拉腰溝の北方にしたので販賣 馬賊現る 蔡家驛西方に

無順炭礦軍勝つ 工場軍後半に利めらず

ト献氏の新案

偽刑事ご自稱

主嶺

少孩の悪戯

満洲里を引揚

一萬數千圓 鮮人の行金拐帶

預かつた 子供を賣る

Through History

露國銀行の 哈爾實

(マルセル)石鹸同質の鎌阜品にして使用盃つて艦便

缺ぐべからざる必需品なり 毛糸。毛織物。絹物の洗濯に 毛糸 毛織物 MANCHURIA SOAP MEG.COM 洲石鹼株式會此

初

店会合

初果極めて超大なり

言亞 久古精成島屋 堂

洋藥藥洋米 藥洋 行房房行所號房行

一門

號はゼネラル

00

は徹底的研究の成果なり

ゼネラル・モー

タース製自動車

動車を提供し得るのである。 所の産める多數の自動車工業上の發明又は敗良の實例である。 米國 如き大規模の施設は世界最大の製造會社たるゼネラル・モ 社が有する同種の施設のうち 最大にして 最新式なるものであ 維持し得るこころである。是れあるが為めにゼネラル 動力を有するゆゑんは、 る、電氣始動機、蓄電池點火、有名なるデューコ塗飾等は此實験 る宏大なる研究實驗所がある、此實驗所は世界中の一自動車會 ゼネラル ースは各購入者に對して最低値段を以て最良機構の最新式自 -スの如き絶大なる資源ご實力ごを有するも 間断なき根本的研究を續りて行くからてある、而して斯しの シガン州デトロイド市にはゼネラル・モータースに属す ・モータース製各自動車の壽命長久にして卓絶せる作 自動車製造及び運轉の原理に關して断 ・モータ

海 北楊子路三號

ネラル・モ 9 ス會祉

上

おたかつた。やがて御飯がすんがたかつた。やがて御飯をたべはじめ其の御をなべはじめ其の御 のぼるさんが目をくる まつのであつた 一人はかい酸でなつかしい成を ·鞍山中學三年

では、まり着くもなく を発生と一しよに海岸の方へ散 も先生と一しよに海岸の方へ散 も先生と一しよに海岸の方へ散

たので急いでかけよると光生は大の底に深山のしぶきが酸にかれる。ふと光生がお呼びになつ 其の時は丁度漸漸で大波が「ざい天氣であつた。 寒くもなく心ゆくばかり間へし

た機な魔を言ふのである。それがひえたりして、きれいに成ながひえたりして、きれいに成ながひえたりして、きれいに成な の魔を言ふのである。題を解除は其のひょ に、ひとが入り「ずとん」とひ きの處からづれて勝順となっ

の歌になった。

んでいよく、私達のリンゴ拾ひだんと、水冰大館の番組がする

飯田

てもどつて

はらかい岩である。壁殿の石炭が水浴場の地層はツエールと言ふ水浴場の地層はツエールと言ふない場合のや 無常の指を見ると大ていのは他 をかぶせてゐる地層は確を含 海岸の石」 ちゃく」と音を立てながら起 りだした。 よほど近い腕にリンゴはおいて

はんとうにせいの高い人は便利だと思つた。

夕立にむかひの屋根のしぶき

タ群にばつとあかる (電氣かた

うっつくんいや

がない。それは渡と一しよにお 何がなくなったさらである。 神しと神の方にある鳥の中、鳥 おなさんに、いつも

大島 はながてんじょうにむい 妙

だれからも気はれる。ほんと お母さんたちにおよろにはいつ に私のはなはてんじようへむい 野の雨子供よろとぶ水たまり 棚野 享一橋野 享一 被題に出とり 好ぐれに聞しと

なな、とつてしまひたくなる。なな、とつてしまひたくなる。 態公がナス 高島 文男 屋野 邦彦

東て其の一方が後にさらはれて

た形の島になったさうで

前間さんが「大島・・・・さんの」と聞くと

一つからい

てかち、はなをつましれる。

「くつく」とわらふので

おかしいのね」と聞いたら、

形をしてゐる島が二つ、三つ

成印、私が教授へきて見て、 塗へはいると、前間さんたちが

うにむいてゐるな」といほれる

指にたり丁度地を板の線に重ね んで同僚萬年と立つ中にそれが をで同僚萬年と立つ中にそれが 生(永 彩) 三ヶ島勝

説の時だった。ハルピンの先生 が御部屋から出てこられて今お

世島さんは「ねえれ」さん場本さ

まな取られた線な淋しさはどう する取らルを線な淋しさはどう

星ケ浦海岸にて

開原小學校舞六

前

貞

子

大の様なことを説明して下さつ

地層と斷層」

ければなりませんので、ざんね 率天春日小學校尋六 N 清子 着の中にいれたら又称いてきた 立つところまで来た。 まだ一つよりンゴをとつてゐな さうしてやつと五つばかりとつ いので後を見ると、一つ作いて

> 時間を見るともう人時中ごろの時へもぐりこみました。 びしくてたまらないので、と

ゴ拾

私はなぜにんなに小さいのだら 皆なはせいが立つからたくさ とつて來たやうだ。 関はあわて、目をふさいだがっす。

と見べて、ふと目をさました時 呼ばれむれなかつた。 俳 句

科專門

僕のよこにお父さんがすや とねむつていらつしやつたい 率天骊生小慰校五年生

お父さんが「僕は町へいつて來 るからおるすをしておいでし 関たちは、かはんが今すんだば しばらく本をよんでゐたが、さ べやは「シイン」としづまり まもなくお父さんは仕度をと 医は「はい」といつたきり後が のへてお内を出ました。 さびしい夜 松林小學校三年 健市

おつしゃつた。

いへなかつた。

へ店弊の店門

田 事の一堆洲浦

0一四五話電

日見温馨水コードに全体が発

(六)

成績

紙

一展監督

いつてよ、だからよんで来てち

海水るく

だと思ひながら様々の人の様子 するぶんきたないことをする。

イモウト

沙河口小學校一年

石原正

を見てゐた。數は皆おなじく

シの中にいれて来た人もある。

公主做小學校五年

20

る」ながめれば、ながめる程度 い果しもない顔の神には一そう のほかけ飛が深んでゐる。 「さぶん!」又遊は液におしと

た人を見ると、手に一ばいもつ

やまな、てんじょうにむいてる

發

はなをとりたい。

ボクノ

もらつてくれないかと思ふとか

和

養养西廣場小學校六年

照ちやんがちょこと

くと起って

なつて行かれた、

私は大連へ来た時はまだ少い

およげなかつたので私はしゃ

にさはつた。一しようけんめ

青いはちまきを腹にぎゆつと

ハモイコロトハ

デスクノ

一門、一門すんでいより

めて水泳灘の中にいれるつもら

お見様は美ひながら叉お部屋へ

小學校でもの照ちゃんとけ

小板校であの照ちゃんとけんく

と今日此の里ヶ瀬で食つた。と今日此の里ヶ瀬で食ったのかれた照がやんとかかれた照がやん

あるよし

照ちやんのお見様は「あ、あな たもきたの。服ちやんあそこに

であつたいけーそうられしかつ

起は其の時大へんられしく思う

でながらそれからそれへと話し

私は照ちやんのかたをかるくな 様とかわらないのであった。

それとげません。11日

時立つとこはでかほをつけま

したっするとなみがきたので、

いでやつとリンゴのある所まで

~」とすこし行くともう深

「ばちや」

死て一つとつた。も一つとる

こんどは前にとつたリンゴが手

のため後の方へおされてしまつでおよぐけいこをしたが、なみ

である。

た」との話で私はおどろきの餘

れた時とかわらな小がらな身體

もなかつた。

私は出島さんに、

まてどもくと思ちゃんは来そら

小野校をこひしく思ひ小野校のんの顔を見るとなんだか鞍山の

其の話してゐるうち私は脳ちや

はじめた。

なり行を聴くとほんとに三年か

さいました。毎日けいこしてる。

つたのもにげてしまつた。けつ からはづれたのついいて後にと

きよく何もなくなつてしまつた

が身體がほかんとういた。私は

ん私は水をのんでくるしかつた 立ち上ると大きななみでたいへ

ら五年までの事を思はされるの

二人はしばらく無言のまい照ち

様は私の腕から常にはなれぬ姿

はないのよっきつとあの人はは

をはり騒らやんわ起の一ばんの をはり騒らやんわ起の一ばんの であつた。どうかもつとこの騒

米突くらいおよげるようになりなりました。そして其の中に一

私もたとうと思つたらぶくく

なつたと思へばもり明日間らなました。やつとおよげるように

懸命かへつて来てやつとせいの としづんだ。びつくりして一生 「あの人ならば私をわすれる事

のよ、核長先生におつしゃつた

がにこつと笑つておじぎをす

私は最初の言葉がどうしても

まったった。

しばらくしてからはつぎり

しやるわれし

出島さんもそれには答へなかつ

はきつと製山へ遊びに行からと

ならきつと合つておゐでとおつ

が自動車ではつて來た分はもう其ののぞみはなかはなかけなかった私

餘触矢野元商店 大連市紀伊町五五

特約店募集

强|健

りまして此の健康 りまして此の健康 は無類です

本品は在來の驅除劑に比し絕大の効 力あることは既に定評あり是非一度 御使用を乞ふ

"WAIKIKI" BRAND HAWAIIAN PINE-APPLE

御船物に・御子様方のおやつに・ビールの肴に・ 御來客様に・御食後のフルーツに・海に山に・

ワイキキ印バインアツブル

議院の御喜びも皆様の御嗜好に最も適するが故でる

「ハネーデュー印」「スキート・ドリート」印の二種も

ツト御氣に杏子事と信じます!!

東亞印刷能大連支店 七愛宕町 0

多少に拘らず御用命を願生候

社會學資本日 連大 元獎發

大地県致します 申 かり 月日 九月七日子 四十一回 温気な 五円掛 三円 満會,場合八 貴金屬學作 期日マデノ 人切です. 大村三大村三 洋行へ

星ヶ浦で溺死

州年の通り致します。並に商品領手訓進数 大脇市 青野 町(三) 越横) 明日は土用の丑 明日は土用の丑 土用鰻一かば 土用鰻一かばやき

勝 紫 唐 知 典雅にして 各種製造販賣 貴品ある

何程にても飛行式にお届けいた 内地焼酎(實印) 一九十 十五十五歲錢圓錢錢 高高店

東亞印刷森會社 明日は土用の丑 酒 土用らなぎ 類 食料 000

一金拾六萬九千八百四拾就錢就錢一金拾六萬九千八百四拾

界各種 東京風菓子謹製字 うす 能器しるこ 音楽しるこ ず <u>茶</u> ボケット羊美 饅

102 支那學界 權威來連

0)

甲子殿所にて

合はしたならばい

水夫海に墜っ あめりか丸から

金九百拾圓也

右之通候也大連婚油株式會町 一金四千百拾圓九拾九錢五厘

金御中食・三十一時。金五十銭金小鉢もの。 (突出付)金武十銭金小鉢もの。 金十五銭 正宗 (突出付)金武十銭 金丁 は 金五十銭より 金四十銭 まり 金四十銭 金五十銭より

なら漬の御用意に 內地酒粕

當前他未配株支配配器別法賽期期 當式揚員沿途定 利線 拂未未 手貯職單 立立 金。后全金企形金金金金金金

傳ヒラ

《可想海南市清兰下》

一金式千四百七拾六圓六拾錢五厘 一金莹萬八千百八拾國桑拾九錢 前期發越金 前期發越金

江戶前料理

例年の通り勉量致します 大連市 吉野町 七五

かばやき

日本各地名産

· 行 所

